

## 定例記者会見資料



公立大学法人  
島根県立大学

○日 時	平成25年10月9日(水) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p><b>【3キャンパス共通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地(知)の拠点整備事業(大学COC事業) キックオフ・ミーティングの開催について……………[資料1]</li> </ul> <p><b>【浜田キャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島根国際学術シンポジウム2013の開催について……………[資料2]</li> <li>・フレッシュマン・フィールド・セミナーの開講について……………[資料3]</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学祭の開催について……………[資料4]</li> </ul>
○資料提供項目	<p><b>【浜田キャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度第1回北東アジア研究科 博士後期課程学位論文公開審査会の実施について……………[資料5]</li> <li>・平成25年度島根県立大学進路懇談会について……………[資料6]</li> <li>・島根県立大学総合政策学会特別講演会の開催について……………[資料7]</li> <li>・平成26年度島根県立大学アドミッション・オフィス入試の 志願状況のお知らせ及び報道対応について……………[資料8]</li> </ul> <p><b>【出雲キャンパス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災力向上の取り組みについて……………[資料9]</li> <li>・平成25年度島根県がん相談員等中央研修会の開催について……………[資料10]</li> <li>・交流ウォーキング・プログラム2013シーズン2の実施について……………[資料11]</li> </ul>
○行事予定	<p>〔入試日程〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドミッション・オフィス入試【浜田キャンパス】……………10月19日(土)～20日(日)</li> <li>・看護学部3年次編入学試験 【出雲キャンパス】……………11月2日(土)</li> <li>・専攻科推薦入試・社会人特別入試・地域特別入試【出雲キャンパス】……………11月9日(土)</li> </ul> <p>〔大学祭開催日程〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海遊祭【浜田キャンパス】……………10月13日(日)～14日(月)</li> <li>・つわぶき祭【出雲キャンパス】……………10月26日(土)</li> <li>・飛鳥祭【松江キャンパス】……………10月12日(土)～13日(日)</li> </ul>

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。  
なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200  
出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200  
松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525



※次回の定例記者会見は 平成25年11月13日(水) 13:30から開催します。

マスコットキャラクター「オロリン」です。

平成 25 年 10 月 9 日  
島根県立大学 浜田キャンパス  
地域連携課  
担当 草刈・槇野・竹口  
電話 0855-24-2396

## 「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」キックオフ・ミーティングの開催について

### 1 目的・理由

平成 25 年 8 月、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」の採択を受け、今後実施する事業内容について連携する自治体・企業団体・NPO 法人等へ概要説明を行い、事業推進にあたっての理解と協力を求める。

### 2 日時

平成 25 年 10 月 29 日（火） 13:15～16:15

### 3 会場

島根県立大学 浜田キャンパス 交流センター コンベンションホール

### 4 主催

島根県立大学

### 5 内容

地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）概要の説明  
浜田・出雲・松江キャンパスの取組の実績報告 等

### 6 出席者

連携自治体、企業団体、NPO 等各種団体・機関

### 7 事業概要

事業名称：地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム

実施大学：島根県立大学、島根県立大学短期大学部（共同申請）

事業費：57,993 千円（平成 25 年度）

事業年度：平成 25 年度～平成 29 年度

# 地（知）の拠点整備事業（COC事業）とは

参考

## 地（知）の拠点整備事業（大学COC(Center of Community)事業）

### 背景 <大学等に対する期待>

- 大学等の教育研究が、地域の課題解決に十分応えてほしい。
- 地域と教員個人の間をつなぐ役割を超え、大学等が組織として地域との連携に取り組んでほしい。

平成25年度予算案 23億円（新規）

### <大学等が地域の課題解決に取り組む意義・効果>

- ◎地域の再生・活性化に貢献
- 大学等の教育研究が、より地域の現実的な課題を直視したものとなる。
- フィールドワーク等を通じて、学生が地域の現実の課題解決に参加することで実践力を育成。学習する意欲も刺激。
- 大学が組織として地域と連携することで、大学等の様々な資源が有機的に融合。課題解決に向けた教育研究活動が活性化。

### 事業目標

大学全体として地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等（短大・高専を含む）を支援することで、大学のガバナンス改革を進めるとともに、大学の強みを活かした大学等の機能別分化を推進

### 支援対象

大学内の全組織が有機的に連携し、「地域のための大学」として全学的に教育課程の見直しを含む地域再生・活性化のための取組を進め、将来的には教育力リキウム・教育組織の改革等につなげる取組。  
地域の課題（ニーズ）と大学等の資源（シーズ）のマッチングにより、自治体及び大学等はそれぞれ複数・単独で実施。

### 支援条件

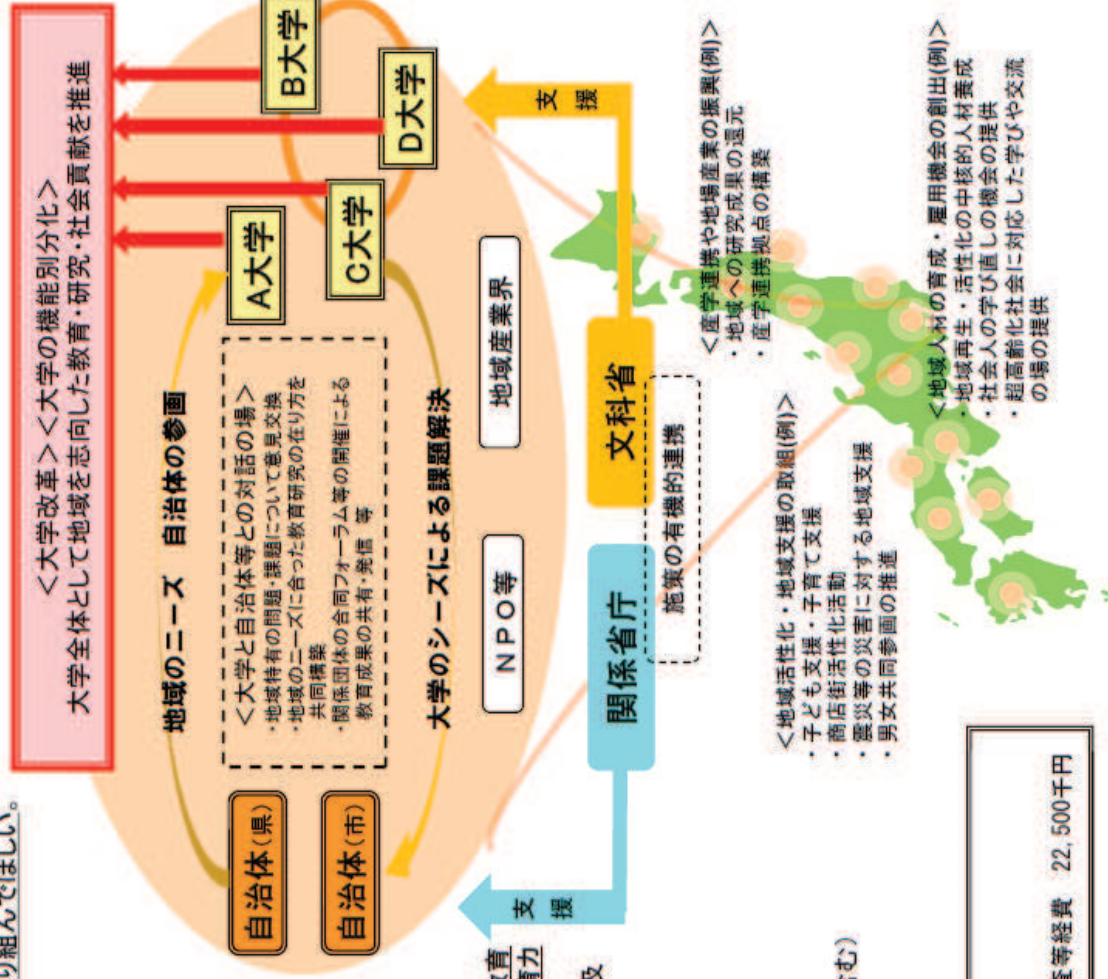
- ①大学等において全学的な取組への位置付けの明確化
  - ②大学等の教育研究と一体となった取組・教育研究への反映
  - ③大学等と自治体が協定を結び組織的に関与
  - ④対話の場の設定
  - ⑤これまでの地域との連携の実績
  - ⑥自治体等からの一定の経済的支援（土地の無償貸与、人員の派遣等を含む）
- マッチングファンド方式 —

### 支援件数・金額

平成25年度予算案 2,272,500千円

○45,000千円 × 50拠点

※審査等経費 22,500千円



# 本学の取組みの概要

参考

## 地域と大学の共育・共創・共生に向けた 縁結びプラットフォーム



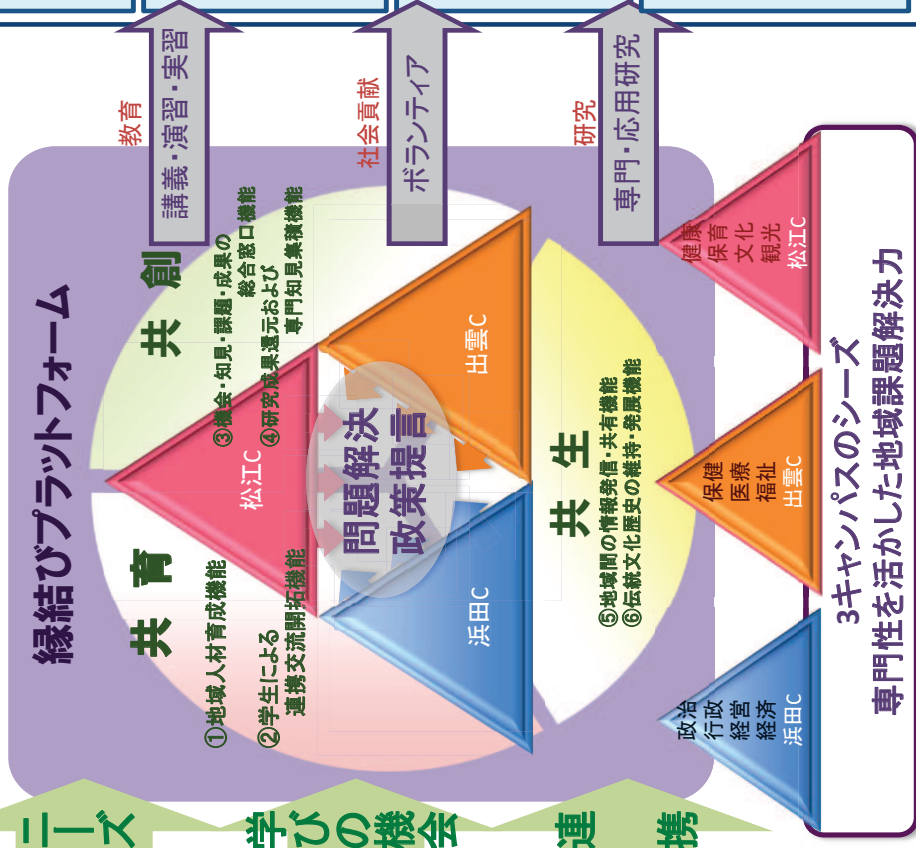
### 現在の地域問題・課題

- ✓ 人口減少・少子高齢化・過疎化
- ✓ 安心・心豊かな地域社会の構築
- ✓ 連携促進による人材・産業の育成

### 現在の大学課題

- ✓ 3キャンパスの連携強化
- ✓ 地域連携の目標・成果の体系化
- ✓ 地域での学習・教育活動の体系化

NPO 地域 学べる機会 連携  
 地元企業 自治体



### 持続可能な共生社会の実現

#### 次世代の共生社会

- ✓ 課題に対する継続的な取組
- ✓ 育成人材の活動とネットワークによるさらなる活性化
- ✓ 地域・分野・主体の横断・連携強化
- ✓ 地域の自立と自律のための仕組みづくり

#### 産業育成

- ✓ 地域イベント、伝統文化への学生参加による集落・商店街の賑わいの創出
- ✓ 地域ニーズに対応した自治体への総合的政策提言
- ✓ 地場産品・地産地消促進のための学生の学生による実践的取組

#### しまね地域マイスターを認定した人材の輩出

- ✓ 地域事情に精通し、課題対応できる人材(産業界)
- ✓ 地域の集落・福祉マネジメント(行政)
- ✓ 地域をつなぐコーディネーター(NPO)
- ✓ 保健・医療・福祉のプロフェッショナル(医療福祉)

#### 地域再生・活性化

- ✓ 高齢化・過疎化する地域に学生を送り出し世代交流と活力をもたらす集落支援事業
- ✓ 伝統文化歴史、伝統工芸など地域特性を活かした高齢者・若者の雇用創出
- ✓ 安心して暮らせる医療・福祉、在宅介護支援の確立

資料提供：平成 25 年 10 月 9 日  
担当：浜田キャンパス  
国際交流課 佐草 利博  
TEL 0855-25-9063

## 島根国際学術シンポジウム 2013 の開催について

この度、島根県の「古事記 1300 年記念事業」の一環として、島根県立大学が中心となり国際学術シンポジウムを別添パンフレットのとおり開催します。

今回のシンポジウムには、日中韓米露から9名の研究者と、本学からは5名の研究者が報告を行う予定です。

島根県立大学が培ってきた北東アジア研究を踏まえ、古代から現代にわたる北東アジア地域間における豊かな交流の歴史などについて活発な議論を行います。

下記内容につきまして学生、一般市民に公開して開催いたします。

### 記

1. 日 時：平成 25(2013)年11月14日(木)・15日(金) 10:00～
2. 会 場：島根県立大学浜田キャンパス 講堂
3. テーマ：『北東アジアの地域交流—古代から現代、そして未来へ—』
4. 主 催：島根県立大学
5. 共 催：島根県立大学北東アジア地域研究センター

神々の国しまね実行委員会

※当日は日本語・中国語・韓国語・英語・ロシア語による同時通訳があります。  
参加費、申込、不要。

記者会見配布用



島根国際学術シンポジウム2013

# 北東アジアの地域交流

—古代から現代、そして未来へ—

2013年  
期間：**11月14日(木)、15日(金)**

会場：**島根県立大学 講堂**

主 催：島根県立大学  
共 催：島根県立大学北東アジア地域研究センター、  
神々の国しまね実行委員会

## 北東アジアの地域交流——古代から現代、そして未来へ——

### 趣意書

平成24年が「古事記編纂1300年」にあたり、また、平成25年が出雲大社「平成の大遷宮」のおこなわれる年にあたることから、島根県は「神々の国しまね」プロジェクト（平成22年度～平成25年度）を立ち上げました。この「島根国際学術シンポジウム2013」は、そのプロジェクトの一環として企画されたものです。

島根県立大学は、2000年に開学した大学ですが、その当初から、地域に貢献する大学であると同時に、北東アジア研究の拠点となる大学であることを標榜してきました。大学院に北東アジア研究科と開発研究科が設置され（のちに両者は「北東アジア開発研究科」に統合されました）、また、「北東アジア地域研究センター」（NEARセンター）が付置されたのも、そのためです。

そうした島根県立大学の特性を生かすべく、「島根国際学術シンポジウム2013」はその総合テーマを「北東アジアの地域交流——古代から現代、そして未来へ——」とすることにしました。

シンポジウムは、2日間で4つのセッションに分かれておこなわれます。第1セッション「古代神話の世界と北東アジア交流」、第2セッション「鎖国時代の北東アジア交流」、第3セッション「北東アジア接壤地域の歴史と現状」、第4セッション「現代～未来のアジア太平洋交流」です。第1・第2セッションでは日本・中国・韓国・ロシアの、第3セッションでは日・中・韓の、そして第4セッションでは日本・アメリカの研究者が参加します。

古代・中世では東シナ海。黄海・日本海（東海）を通じての日・中・韓の海域交流が盛んでした。遣唐使などの制度化された交流が始まる以前から、広範な文化移動や文化接触がありました。そもそも朝鮮半島や日本列島における古代国家の形成自体、中華帝国との関係ぬきには語れないわけです。第1セッションでは、その観点から古事記・日本書紀の神話世界を取り上げました。

日本が鎖国体制をとった近世でも、日本と中国・韓国・ロシアの間には一定の国際交流がありました。対馬宗氏を介しての朝鮮通信使による李氏朝鮮との交流や、長崎の唐人屋敷を通じての中国との交易などもあったわけですが、第2セッションでは、漂流民の取り扱いなどから窺える北東アジアのこの時期の国際関係について考えてみます。

第3セッションでは、モンゴル・図們江北岸地域（現在の中国吉林省延辺朝鮮族自治州）・韓国済州島という、それぞれ国境を接する地域から見えてくる国際関係・国際交流のあり方を考察します。

第4セッションでは、21世紀の北東アジア交流は「アジア太平洋交流」として展開して行かざるを得ないという観点から、アメリカというファクターを加えて、今後の展望を試みます。

シンポジウム実行委員会委員長

島根県立大学 飯田 泰三

# — プログラム —

**11月14日(木)**

◇総合司会：李 曉東 島根県立大学 北東アジア地域研究センター長

## オープニング

9:30～

◇挨拶：本田 雄一 島根県立大学 学長

## 第1セッション：古代神話の世界と北東アジア交流

10:00～

○報告

坂本 勝 (法政大学) 「記紀神話をどう読むか」

飯田 泰三 (島根県立大学) 「記紀神話における出雲神話の位置」

魯 成煥 (蔚山大学校) 「韓国から見た日本神話」

王 曉秋 (北京大学) 「古代中国人の日本認識」

◆コメンテータ：エルマコーワ・リュドミーラ (神戸市外国語大学)

まとめ・質疑応答

## 記念講演 宇野重昭名誉学長

13:30～

## 第2セッション：鎖国時代の北東アジア交流

14:30～

○報告

井上 厚史 (島根県立大学) 「石見への朝鮮漂流民について」

付 勇 (廈門大学) 「中国漂着日本人への取り扱いに見る清朝時代の日中関係」

マランジャン・カリネ (ロシア科学アカデミー東洋古典文献研究所)

「日露関係史から—ロシア科学アカデミー東洋古典文献研究所の史料にもとづいて」

◆コメンテータ：池内 敏 (名古屋大学)

まとめ・質疑応答

**11月15日(金)**

## 第3セッション：北東アジア接壤地域の歴史と現状

10:00～

○報告

井上 治 (島根県立大学) 「モンゴルから見た北東アジア接壤地域」

尹 虎 (清華大学) 「図們江北岸地域の朝鮮系住民社会と日本」

金 日宇 (済州大学校) 「高麗時代のモンゴルと済州の交流—それが今日済州社会に持つ意味」

◆コメンテータ：福原 裕二 (島根県立大学)

まとめ・質疑応答

## 第4セッション：現代～未来のアジア太平洋交流

13:30～

○報告

西藤 真一 (島根県立大学) 「極東ロシアのインフラ整備」

久保田典男 (島根県立大学) 「中小企業のアジア太平洋戦略」

赤羽 恒雄 (モントレール国際大学) 「北東アジア地域の地域統合過程」

ロニー・カーライル (ハワイ大学) 「北東アジアにおける安全保障上の懸念と経済発展政策の相互作用」

◆コメンテータ：佐藤 壮 (島根県立大学)

まとめ・質疑応答



# — 報告者等プロフィール (プログラム順) —

## 第1セッション



**坂本 勝** (サカモト マサル) Sakamoto Masaru

法政大学文学部教授。専修大学大学院博士課程満期退学。専攻は上代文学。上代文学会理事。著書に『古事記の読み方—八百万の神の物語—』(岩波新書 2003)、『はじめての日本神話—『古事記』を読みとく—』(筑摩プリマー新書 2012)等。〈後者は、昨年12月、第1回「古事記出版大賞」のうち、「しまね古代出雲賞」を受賞〉。



**飯田 泰三** (イイダ タイゾウ) Iida Taizo

島根県立大学大学院北東アジア開発研究科長、同大学副学長。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。法学博士。法政大学法学部教授、同法学部長、同現代法研究所長、同沖縄文化研究所長等を経て現職。専門は、日本政治思想史。著書は、『批判精神の航跡—近代日本精神史の一稜線』(筑摩書房 1997)、『戦後精神の光芒—丸山真男と藤田省三を読むために』(みすず書房 2006)等。



**魯 成煥** (ノ ソンファン) No Sung Hwan

韓国蔚山大学校人文大学日本学科教授。大阪大学大学院博士課程修了、文学博士(大阪大学)。神話、歴史、民俗を通して韓国比較文化研究。最近の主要著書は、『日本の民俗生活』、『日本神話と古代韓国』、『梧桐島冤説話の世界性』、『韓日神話の比較研究』(全てソウル民俗苑 2010)、『古事記』(ソウル民俗苑 2009)、『日本に残った壬辰倭乱』(ソウルJ&C. 2011)〈いずれも韓国文化観光部指定優秀図書〉等。



**王 曉秋** (オウ ギョウシュウ) Wang Xiaoqi

北京大学歴史学部教授、中外関係史研究所所長。関西大学名誉博士。北京大学歴史学部卒業。東京大学、慶応義塾大学、中央大学、また、韓国・フランス・タイの大学の客員教授などを歴任。主な研究分野は、中国近代史、中日関係史、中外文化交流史。著書に、『近代中日文化交流史』、『近代中日関係史研究』、『近代中国と世界:相互作用と比較』、『近代中国と日本:相互作用と影響』、『東アジア史の比較研究』等。中国の国家清史編纂委員会の委員、中日関係史学会の顧問等を務める。

## 記念講演



**宇野 重昭** (ウノ シゲアキ) Uno Shigeaki

島根県立大学名誉学長、同名誉教授。成蹊大学名誉教授。東京大学教養学部卒業、同大学院社会科学研究科修了、社会学博士。専門は、東アジア国際関係史、国際関係論、中国地域研究。主な著書は、『北東アジア学への道』(国際書院 2012)、『北東アジア研究と開発研究』(編著、国際書院 2002)、『地域に生きる大学—ダイナミックな知の共同体をめざして』(山陰中央新報社 2002)等。

## 第2セッション



**井上 厚史** (イノウエ アツシ) Inoue Atsushi

島根県立大学総合政策学部教授。大阪大学大学院満期退学後、韓国蔚山大学校人文大学に3年間在籍。専門は、日本思想史および韓国儒学史。日本近世儒教研究から出発し、近年は朝鮮儒学研究、とくに李退溪の思想について研究を進めている。共著に、『西周と日本の近代』(ペリかん社、2005)、『歴史のなかの「在日」』(藤原書店、2005)、『正義とは』(岩波書店、2012)、訳書に河宇鳳著『朝鮮実学者の見た近世日本』(ペリかん社、2001)等。



**付 勇** (フ ユウ) Fu Yong

廈門大学外学院日本語学部助理教授。2000年一橋大学大学院言語社会研究科修士課程修了。2004年同研究科博士課程単位取得退学。拓殖大学客員研究員・日本企業通訳・講師を経て現職。研究分野は、近世日中関係史、清朝中国と日本人漂流民など。訳書『中国近世財政史の研究』(岩井茂樹著、社会科学文献出版社 2011)等。



**マランジャン・カリネ** Marandzhian Karine

東洋古典文献研究所極東部門上級研究員。レニングラード国立大学東洋学部卒。1986年、ソ連科学アカデミー東洋学研究所レニングラード支部で『狄生徂徠の儒教的な著作《弁道》および《弁名》』と題する論文で博士候補学位を取得。研究分野は徳川時代の日本思想史、日本の儒教、日本におけるサンスクリット語学、ロシア東洋学史等。訳書に、山折哲雄『日本人の顔—図像から文化を読む』(2011)、編著に、大槻玄沢・志村弘強『環海異聞』(2009)等。

## 第3セッション



**井上 治** (イノウエ オサム) Inoue Osamu

島根県立大学 大学院北東アジア開発研究科/島根県立大学総合政策学部教授。早稲田大学大学院満期退学。専門は、モンゴル歴史文献(翻訳文献も含む)、16世紀以降のモンゴルを中心とした地域間関係史、モンゴル語出土文書(白樺文書、オロンスム文書)、北東アジア地域の民族関係、危機言語モゴール語音声資料等。



**尹 虎** (ユン ホ) Yin Hu

清華大学人文学院思想文化研究所研究員。法政大学政治学研究科博士課程修了。研究分野は国際政治思想、満州国間島省(延辺)地域の研究。著書に、『北鮮ルート構想と図門江開発』(韓国観察 2012)、『満州国期間島地域における国家兵営化政策に関する考察』(前治 2011)、『間島における抗日運動』(法政大学大学院紀要 2009)。共著に、『東北亜国際関係論』(吉林人民出版社 2011)等。



**金 日宇** (キム イルウ) Kim Ilwoo

済州大学校社会科学大学・教育大学などの非常勤講師。高麗大学校大学院史学科韓国史専攻博士学位課程卒業(文学博士)。専門は韓国史。著書に、『高麗時代耽羅史研究』(新書院 2000)〈韓国文化観光部選定「2001年度優秀学術図書」〉。共著に、『楸子面歴史文化誌』(韓国文化院連合会済州島支会 2012)等。現在、韓国史学会理事・編集委員を務める。

## 第4セッション



**西藤 真一** (サイトウ シンイチ) Saito Shinichi

島根県立大学総合政策学部講師。関西学院大学大学院 博士後期 経済学研究科(経済学専攻)単位取得満期退学。専門は、経済学。共著に、『規制改革30講—厚生経済学的アプローチ—』(中央経済社 2013)、『交通経済ハンドブック』(白桃書房 2011)、『現代公益事業-ネットワーク産業の新展開』(有斐閣 2011)等。



**久保田 典男** (クボタ ノリオ) Kubota Norio

島根県立大学総合政策学部准教授。横浜国立大学大学院博士後期単位取得満期退学。中小企業金融公庫、財団法人国際金融情報センター研究員、日本政策金融公庫総合研究所主任研究員等を経て現職。法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科兼任講師。中小企業診断士。専門は、中小企業経営、中小企業政策、地域産業政策。



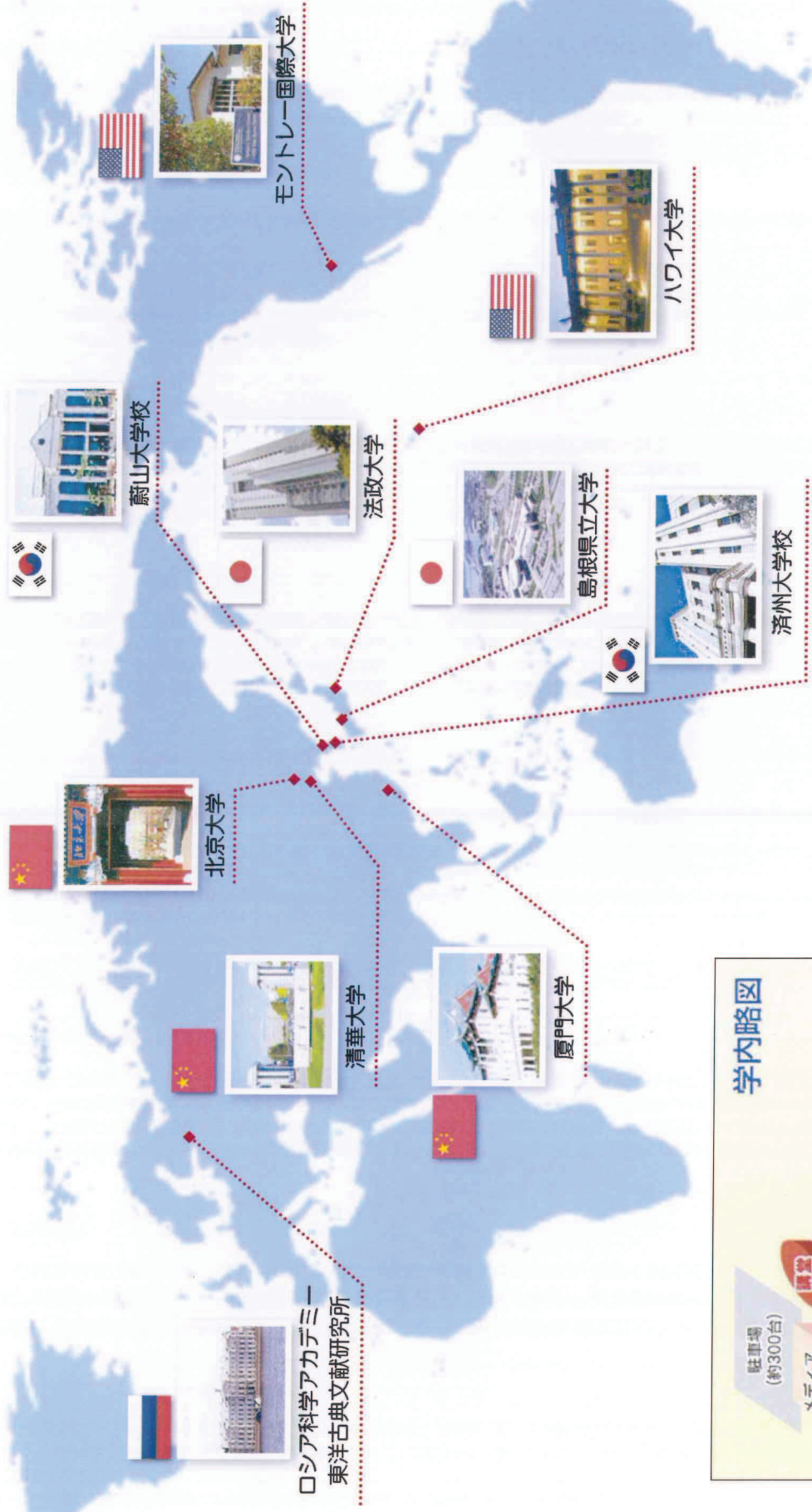
**赤羽 恒雄** (アカハ ツネオ) Akaha Tsuneo

モンテレー国際大学大学院国際政策学教授兼東アジア研究所所長。専門は北東アジアにおける国際関係、日本の外交・安全保障政策、東アジアにおける人間の安全保障と国際移民問題。南カリフォルニア大学にて国際関係学博士号を取得。カンザス州立大学政治学助教授、オハイオ州ボウリング・グリーン州立大学政治学準教授を経て現職に至る。現在、太平洋岸アジア学会会長/理事長、International Relations of the Asia Pacific 編集理事会メンバーを務める。



**ロニー・E・カーライル** Lonny E Carlile

ハワイ大学マノア校日本研究センター准教授。ハワイ大学で政治学、アジア研究を専攻したのち、九州大学大学院法学研究科で修士課程、カリフォルニア大学バークレー校で政治学博士課程修了。東京大学社会科学研究所(日本)、イリノイ大学(米国)、プリティッシュコロンビア大学(カナダ)などで、研究を重ねる。著書に、『The Postindustrialization of the Developmental State』(『Japan Since 1945: From Postwar to Post-Bubble』共著、2013)、『Divisions of Labor: Globality, Ideology, and War in the Shaping of the Japanese Labor Movement』(2005)等。



【問合せ】

島根県立大学 事務局 国際交流課

TEL : 0855-25-9063

FAX : 0855-24-2208

E-mail : kokusai@admin.u-shimane.ac.jp

平成25年10月9日  
島根県立大学  
事務局地域連携課  
担当：河部  
電話：0855-24-2396

## 今年度も全初年次生が地域に出かける「フィールド学習」を開始 ～地域の課題発見と課題解決能力を習得～

島根県立大学総合政策学部では、平成23年度より始まった「フレッシュマン・フィールド・セミナー」(FFS)が、今年度もこの秋学期から開講され、さる10月3日から授業が始まりました。学生が初年次生の時点から社会に触れ、地域住民と接することを通じて、自らの学習目的を明確化し、主体的に将来像を描く力をつけさせることを目的としています。

この「FFS」では、学生が島根県内、浜田市、近隣地域等、社会のさまざまな現場(フィールド)に出かけていき、そこで関係者への聞き取り調査や、実際の現場に触れることなどを通じて地域の課題を発見し、その課題の解決策を計画し、提案していきます。授業の流れは事前調査に始まり、フィールド調査、調査結果分析、調査報告資料作成等を経て、最終的には合同成果発表会で締めくくることがとなります。この発表会には本学学生・教職員はもとより、取材・調査先関係者や一般市民の皆さんも参観されます。

地域の現場に出かけるフィールド調査は、全15回の授業のうち、クラスによって違いはありますが、2～5回程度実施予定です。1クラスは14～15名の受講生で構成されており、今年度のクラス数は16、全受講生数は236名となります。

「地域の課題を多角的に研究し地域に貢献する」ことを大学憲章に掲げる本学において、初年次の段階から「FFS」の実施を通じて、使命のひとつである「地域社会の活性化と発展に寄与する人材の養成」について、今年度も取り組んでいきます。

- ◆今後、各クラスの担当教員の指導のもと、随時全受講生がキャンパスを飛び出し、クラスごとに地域の現場に出かけていきますが、クラスによって取り組むテーマや取材・調査先は異なります。詳しくは、別紙の参考資料をご参照ください。

以上

〈参考資料〉

平成25年度 フレッシュマン・フィールド・セミナー

クラス	授業テーマ・概要等	フィールド
赤坂ゼミ	「A級グルメのまちづくり」石見広域版（浜田市内飲食店の調査） 赤坂ゼミでは、邑南町のA級グルメ構想を石見地域へ拡大展開することを目的とし、浜田市内飲食店への地域食材に関する調査を行う。	・浜田市内飲食店 ・邑南町内
瓜生ゼミ	シリーズ「浜田と石見の“元気印”」を探る！ 浜田市内で「うどんの今田」を、また浜田市弥栄町内で「田舎カフェ&キッチン陽気な狩人」を経営する今田孝志氏の1日取材・撮影することで、このゼミの特徴である[映像]による知識化と認識化を図る。	・田舎カフェ&キッチン陽気な狩人 ・うどんの今田
大橋ゼミ	グラントワ（島根県芸術文化センター）及び石見神楽の現状を調査し、現在いろいろと取られている施策を考え、課題を発見し、さらに出来得れば、これらをより活性化させるための策を提案する。	・グラントワ〈島根県芸術文化センター〉 ・浜田市観光振興課
大前ゼミ	日本でも有数の水産都市である浜田市の現状と課題を探る。	・浜田市水産課 ・しまね漁業協同組合浜田支所 ・水産加工会社 ・しまねお魚センター
川中ゼミ	島根県立少年自然の家でのフィールド調査を通して、現場の実際について学生たちが主体的に学ぶことを目的とする。授業の目的は、島根県立少年自然の家の地域における役割を検討し、地域の方々のニーズを知り、そして、小学生との交流を通じて多くの学びと気づきを得ることである。	・島根県立少年自然の家 ・しまね海洋館アクアス ※11月には、少年自然の家主催で小学生とその保護者を対象とした1泊2日の事業「森と海の集い」にも参加
木村ゼミ	「浜田市の金融機関（銀行）の企業に対する取り組みと課題」 浜田市の金融機関（銀行）の業務や取り組みと浜田市の企業の銀行との関わり方について調査し、浜田の産業活発化のための今後の課題を探る。このゼミでは、銀行と企業がどのような関係にあって、どのような課題に直面しているのかを学び、実感することを目的とする。	・日本海信用金庫 ・山陰合同銀行 ・日本政策金融公庫 ・浜田商工会議所 ・島根県浜田地区建設業協会 ・紺屋町商店街振興組合
久保田ゼミ	「中小企業の事業展開」 島根県を代表する中小企業1社をケーススタディの題材として取り上げ、同社の取組みを調査することを通じて、中小企業を調査するうえでの手法を学ぶとともに、中小企業の抱える課題やその解決策、中小企業の事業展開の取組みについて学ぶ。	・石見食品株式会社
西藤ゼミ	「消費者ニーズの調査」～石見地域の食材に関する複数ゼミの合同プロジェクト～ 本ゼミでは、消費者が石見特産の食材についてどのような価値について注目し、何を期待しているのか探る。	・川本町三原地区、浜田市内、広島市内の予定 ・邑南町内

田中ゼミ	「A級グルメのまちづくり」石見広域版（益田市内飲食店の調査） 邑南町のA級グルメ構想を石見地域へ拡大展開することを目的とし、益田市内飲食店への地域食材に関する調査を行う。飲食店での地域食材の使用方法や地産地消率、仕入れの決定条件など、飲食店の地域食材へのニーズを把握するためヒアリング調査を実施する。調査を通じて6次産業の取り組みを理解し、生産・加工・販売の一連の供給体制のあり方を経営学の視点から検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市内飲食店</li> <li>・邑南町内</li> </ul>
豊田ゼミ	「廃棄物を利用した発電」 環境とエネルギー問題を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコクリーンセンター</li> <li>・浜田市不燃ごみ焼却場</li> <li>・石央リサイクルセンター</li> </ul>
中川ゼミ	「浜田市の福祉の現状と課題を考える」 浜田市内のさまざまな福祉の事業所、施設を訪ね、浜田市の福祉の現状と課題を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜田市内福祉施設等</li> </ul>
八田ゼミ	石見の「ものづくり」ー「石見焼」の魅力ー 18世紀中頃から、現在の江津市を中心とする石見地方で作られてきた「石見焼」。独特の「はんど」（大型の水がめ）をはじめ、現在では、時代のニーズに沿った多様な日用品も製作され、多くの人々に愛されている。石見の風土と人々の技に育まれてきた「石見焼」の歴史と現状を学び、地域の貴重な伝統工芸品である「石見焼」の魅力を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石州嶋田窯</li> <li>・島根県石央地域地場産業振興センター</li> </ul>
林(秀)ゼミ	いくつかの農産物を事例にとりあげ、その生産・販売に関する地域調査を行うことを通して、地域農業や農業生産・販売の実態と課題について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石見地方（とくに浜田市）</li> <li>・邑南町内</li> </ul> <p>※訪問先としては、農業者、生産者団体、農業協同組合、行政担当者などを想定。</p>
林田ゼミ	家の価値ってどうやって測るの？ 滞納している税金は、どのようにして取り立てるの？ この授業では、浜田市税務課と徴収課に行き、実際にどのように家の価値を測るのか、実地調査をして計算し、税金をどうやって納付してもらっているのか、その極意を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜田市税務課</li> <li>・浜田市所有物件（公民館、保育園等）</li> <li>・浜田市徴収課</li> </ul>
光延ゼミ	「島根県における国政選挙の投票率の研究」 ーなぜ若者の選挙離れが起きるのか？ー 若者の投票率の低下が叫ばれて久しい。特に20代の若年層は著しい。そこで島根県の国政選挙における投票率について調べ、他の都道府県との比較から、投票率向上にはどのような方法があるのかを考える（提案する）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県（庁）</li> <li>・津和野町（役場など）</li> <li>・非都市部の例</li> <li>・松江市 都市部の例</li> <li>・出雲市 都市部の例</li> </ul>
渡部ゼミ	津和野町の歴史的文化財を活用した観光業の現状を調査し、課題を発見し、町の観光業を活性化するための振興策を提案する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津和野町内</li> </ul>

（五十音順）

※授業の進行の過程において、内容を一部変更する場合があります。フィールド調査等の授業スケジュールは、クラスによって異なります。

平成 25 年 10 月 9 日  
島根県立大学（浜田キャンパス）  
担当者：教務学生課 山本あや  
連絡先：0855-24-2213

## 島根県立大学第 14 回海遊祭の開催について

### 1. 日時・期間

平成 25 年 10 月 13 日（日）9：50～17：00

平成 25 年 10 月 14 日（月）9：50～17：00

### 2. 場所・会場

島根県立大学浜田キャンパス

### 3. 主催者

島根県立大学総合政策学部学友会第 14 回海遊祭実行委員会

### 4. 内容・対象

#### ・メイン企画

お笑い LIVE2013in 浜田

#### ・主催企画

sho win どう？ 一県大マネキン屋

第 3 回華の県大生 他

#### ・地域物産展

シーライフ、BB 鍋、シックスプロデュース 他

#### ・学外イベント

平田太鼓、しまね映画祭、キッズダンス 他

1日目

# -TIME TABLE-

		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
演習室 2	Salon de K margaret	アロマセラピー							
演習室 4	中川ゼミ	ヒューマン・ライブラリー							
演習室 5	日本年金機構 浜田年金事務所	かぞくでチャレンジ!ねんきんすごろく							
演習室 6	C-Artis	C-Artis の園							
演習室 7	地域密着てごねっと	地域密着てごねっと 活動紹介							
演習室 8	写真部	写真部 写真展示会							
演習室 9	ゆるりの会	ゆるりの会							
演習室 10	将棋部	将棋サロン							
演習室 11	中川ゼミ	ヒューマン・ライブラリー							
演習室 12	公共財団法人 しまね国際センター&JICA	☆しまねと世界をもっと近くに☆ JICA&しまね国際センター							
演習室 13	はまでいあん	History of HAMADIAN							
ラウンジ	華道部	生け花展示							

		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
中講義室 2	中国電力(株)浜田電力センター	エネルギー・工作と環境パネル展							
中講義室 3	異文化理解研修	異文化理解研修 研修成果の展示							
中講義室 4	中川ゼミ	講演会・写真展							
中講義室 5	ディベート倶楽部 Q.C.L.C	ディスカッション - 若者の流出を阻止するためには -							

		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
体育館会議室	軽音楽部	GARDEN OF MUSIC							
カフェテリア	書道部	花朝月夕							
カフェテリア	中川ゼミ	写真展							
カフェテリア 2階	茶道部	海遊祭茶会							

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
講堂			Yellow Kite コンサート 2013	俺はまだ本気出してないだけ!!		しまね映画祭			

Yellow Kite  
11:00~11:30

情熱人  
~ガチんちゅ~  
12:00~13:30

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
コミュニティ									

オープニングセレモニー  
平田太鼓  
9:50~10:40

大道芸部  
大道芸 2013  
10:50~11:30

石見神楽公演  
宇野保存会  
12:00~13:00

show win  
どう?  
13:30~14:20

ダンス部  
Our Hour vol.2.5  
14:30~15:10

燈蘭  
咲かせてみせます蘭の華  
15:20~15:50

華の県大生  
16:00~17:00



# 2日目

# -TIME TABLE-

		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
演習室 2	Salon de K margaret	アロマセラピー							
演習室 3	Ethnic Minority Outreach Vietnam NPO	越国(ベトナム)飛び込んで分かった、その姿							
演習室 6	C-Artis	C-Artis の園							
演習室 7	地域密着てごねっと	地域密着てごねっと 活動紹介							
演習室 8	写真部	写真部 写真展示会							
演習室 9	ゆるりの会	ゆるりの会							
演習室 10	将棋部	将棋サロン							
演習室 12	公共財団法人 しまね国際センター&JICA	☆しまねと世界をもっと近くに☆ JICA&しまね国際センター							
演習室 13	はまでいあん	History of HAMADIAN							
ラウンジ	華道部	生け花展示							

		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
中講義室 2	中国電力(株)浜田電力センター	エネルギー・工作と環境パネル展							
中講義室 3	異文化理解研修	異文化理解研修 研修成果の展示							
中講義室 4	中川ゼミ	講演会・写真展							
大講義室 1	オロリン座	映画上映							

		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
体育館会議室	軽音楽部	GARDEN OF MUSIC							
カフェテリア	書道部	花朝月夕							
カフェテリア	中川ゼミ	写真展							
カフェテリア 2階	茶道部	海遊祭茶会							

		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
講堂	吹奏楽部	県大吹奏楽コンサート							

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
コミュニティ									
		大道芸部 大道芸 2013 10:00~10:40	キッズダンス 11:30~12:00	石見神楽公演 舞濱社中 12:20~13:20	ダンス部 Our Hour vol.2.5 13:40~14:20	橙蘭 咲かせてみせます蘭の華 15:20~15:50	浜田健康 フラダンスの会 15:10~15:25	はまけん。 ~浜っ子 vs 県大生~ 11:50~11:20	はまけん。 15:50~16:20

## ■雨天時のコミュニティイベントについて

※雨天時のコミュニティのイベントは、カフェテリアで全て行います。

なお、時間は通常通り進行します。

島根県立大学第14回

10月

# 母遊祭

開催!

5月が胸撃つ2日間

13(日)14(月) 9:50

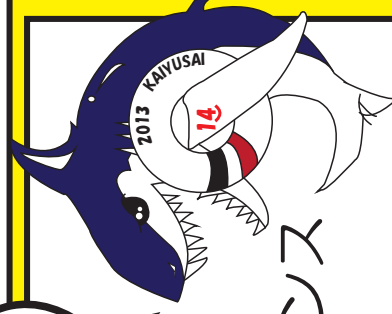
## 【主催企画】

- ・SHOW WIN どりー黙ア社屋
- ・はまけん。
- ・浜っ子 VS 県大生
- ・第3回華の県大生
- ・My Lovers
- ・CM コンテスト

## 【その他】

- ・石見神楽講演
- ・しまね映画祭
- ・キッズダンス
- ・模擬店グランプリ
- ・平田太鼓・フラダンス
- ・フリーマーケット

当日は  
雨天決行です!

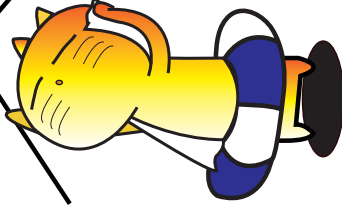


マスコットキャラクター  
シャークくん

## 【地域物産展】

- ・一期一会
- ・シックスプロデュース
- ・シーライフ
- ・BB 鍋

第14回  
母遊祭



## 【お問い合わせ】

- ・ TEL: 090-8062-3182
- ・ HP: <http://kaiyusai.web.fc2.com/index.htm>
- ・ MAIL: [h.kaiyusai@gmail.com](mailto:h.kaiyusai@gmail.com)

今年のテーマは

# 海新撃！

メイン企画

## ◇主催企画 ◇学外イベント

- ・ show win どう？ 【OPENING】 平田太鼓
- 県大マネキン屋 - ・しまね映画祭
- ・ 第3回華の県大生 ・神楽（宇野保存会）

## ◇地域物産展

【シーライフ】

- ・ のどぐるおおにぎり ・ ふぐのみりん干し
- ・ のどぐるお茶漬け など

## ◇主催企画

- ・ はまけん。～浜っ子 VS 県大生～

## ◇学外イベント ◇地域物産展

- ・ キッズダンス 【BB 鍋】
- ・ フラダンス 当日限定 500 食、無料配膳

## ◇主催企画

- ・ My Lovers CM コンテスト
- ◇模擬店グランプリ ◇フリーマーケット

## ◇地域物産展

- 【一期一会】
- ・ イカめし
- ・ さざえめし
- ・ タコめし
- ・ とん平焼き など
- 【シックスプロデュース】
- ・ 自然放牧ジェラートアイス各種
- ・ ドリンク各種
- ・ ちびチーズケーキ

# お笑いLIVE2013in浜田

日付：14日（月）開場：12:00

場所：島根県立大学  
浜田キャンパス講堂

開演：12:30

☆☆今年のゲストはこの3組！☆☆



パナルティ

ハイキングウォーキング



整理券は当日の

10:00 から配布します!!

会場内での無断撮影や  
カメラの持ち込みなどは  
禁止させていただきます。

銀シャリ

※大学内は全面禁煙です。

当日は混雑が予想されます。最寄りの公共交通機関をご利用下さい。

一日目

二日目

両日

25年10月9日  
島根県立大学短期大学部  
松江キャンパス 教務学生課  
担当者 古満繁  
電話 0852-20-0215

## 島根県立大学短期大学部松江キャンパス大学祭

### 第53回飛鳥祭の開催について

#### 1. 期間

平成25年10月12日（土）～10月13日（日）

#### 2. 開催行事内容

- ・開会式 12日 10:00 ～
- ・模擬店・展示発表 12日 10:00 ～ 13日 15:00
- ・実行委員会企画 12日 10:30 ～
- ・本郷奏多トークショー 13日 14:00 ～
- ・ライブ、後夜祭 13日 16:00 ～

#### 3. 場所

松江市浜乃木7-24-2  
島根県立大学短期大学部松江キャンパス

#### 4. 主催者

飛鳥祭実行委員会

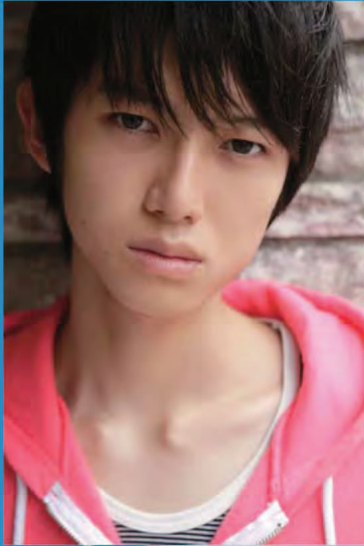
#### 5. 実行委員長あいさつ

今年も伝統ある飛鳥祭を迎えることが出来ました。協賛いただいた企業の皆様、先生方、そして何より地域の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございます。

今年の学園祭はGANTZでお馴染みの本郷奏多（ほんごうかなた）さんをトークショーのゲストとしてお迎えすることが決まりました。どうぞお楽しみに！また学生会企画では仮装コンテスト・WANTED・後夜祭など楽しいイベントを考えております。

飛鳥祭は10月12日（土）・13日（日）両日とも10:00スタート、学生が一致団結して運営にあたります。地域の皆様のご来校を心からお待ちしております。





映画・TVで活躍中のあの人がか来ちゃうよ!

**本郷奏多** Hongo Kanata トークショー

10/13 **SUN** 13:30 開場 14:00 開演  
[前売券] 学内¥600 / 一般¥700 [自由席]  
[当日券] 学内¥700 / 一般¥800

場所  
体育館  
2階  
アリーナ

チケット予約・お問い合わせ先

下記電話番号または、メールで、件名に“本郷奏多トークショー”本文に“名前・電話番号・チケット枚数”をご入力の上、QRコードか下記アドレスまで送信してください。

E-mail: e7213096@matsue.u-shimane.ac.jp

予約締め切り / 10月11日(金) 18:00



行かねば。

島根県立大学短期大学部松江キャンパス  
第53回飛鳥祭 2013/10

12 **SAT** • 13 **SUN**

イベント

- 10/12 **SAT**
  - 模擬店
  - 学生会オリジナル企画 (WANTED/仮装)
- 10/13 **SUN**
  - 模擬店
  - トークショー
  - ピンゴ大会
  - ライブ
  - 後夜祭

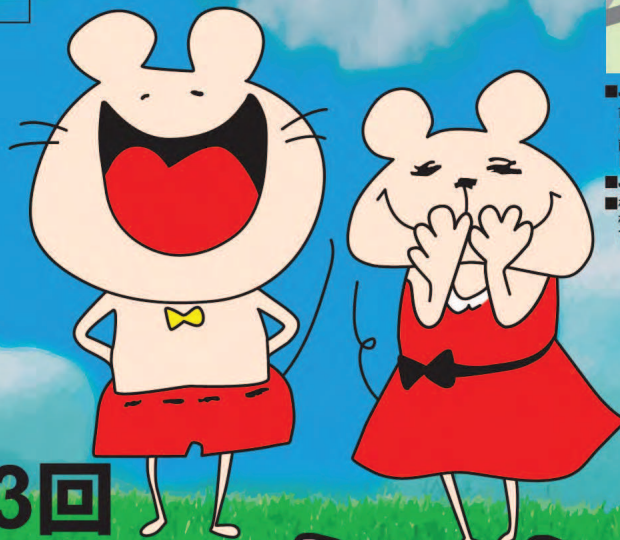
アクセス



- JR松江駅から車で15分  
市営バス(1番のりば)をご利用の場合  
(所要時間約30分)  
南循環外回り(約30分間隔)  
[県立短大前]下車(徒歩約1分)
- JR乃木駅から車で5分
- 松江中央ランプ及び松江西ランプから車で2~3分



島根県立大学  
マスコットキャラクター  
「オロリン」



第53回

飛鳥祭

行かねば。 ~今生きる あなたのひととき もらいます~

お問い合わせ

島根県立大学短期大学部松江キャンパス飛鳥祭実行委員会  
TEL 0852-20-0205 URL <http://matsuec.u-shimane.ac.jp/>

平成25年10月3日  
 島根県立大学浜田キャンパス  
 教務学生課 高田、笹井  
 電話0855-24-2213

## 平成25年度第1回北東アジア研究科博士後期課程学位論文公開審査会の実施について

島根県立大学大学院北東アジア研究科におきましては、下記のとおり、公開型の学位論文審査会を開催します。この審査会は、本学大学院北東アジア研究科博士後期課程に在籍する大学院生から提出のあった博士論文を審査するものです。審査会へはどなたでもご参加いただけます（事前申し込み不要）。

### 記

- 発表者 白薩日娜（バイサリナ）  
 （出身国：中国 大学院北東アジア研究科博士後期課程3年）
- 論文題目 中国の識別された民族のアイデンティティに関する社会学的研究  
 — 東北地方の達斡爾民族を事例に —
- 日時 平成25年10月12日（土）  
 13:30～14:30（入場は13:00から開始）
- 会場 島根県立大学  
 交流センター コンベンションホール
- その他 当日、会場においてレジユメを配布します



【過去の公開審査会の様子】

※取材を希望される場合は、会場設営の都合もございますので、10月11日（金）12:00までに事務局教務学生課 高田（24-2213）までご連絡ください。

### 【参考:本学大学院における過去の博士の学位授与状況】

氏名	学位授与年月	論文タイトル	現職
温都日娜 (オンドロナ)	H18年3月	多民族混住地域における民族意識の再創造 — モンゴル族と漢族の族際婚姻に関する社会学的研究 —	内蒙古大学 准教授
ウスマノヴァ ラリサ	H18年9月	An Historical Account to the process of changing Türk-Tatar Diaspora Consciousness in North East Asia between 1898 and the 1950s (1898年から1950年代における北東アジアのテュルク・タタール・ディアスポラの意識変容過程についての歴史的な考察)	ロシア・カザン連邦大学 准教授
張 紹鐸	H19年3月	国連中国代表権問題をめぐる国際関係 (1961-1971年)	上海外国語大学研究員
柳 小正	H20年10月	中国のエネルギー問題に関する社会科学的分析 — 石油政策を中心に —	(株)エイジウム研究所 主任研究員
寺田 哲志	H21年3月	持続可能な水資源利用と統合型水資源管理の有効性	島根県立大学 准教授
趙 曉紅	H21年9月	「満州国」における医療・衛生事業の展開とその特徴	浙江大学 講師

## 平成 25 年度島根県立大学（浜田 C）進路懇談会開催について

学生、保護者及び大学関係者が一堂に会して、学修や大学生活及び進路に関する情報交換により情報の共有を図ることを目的とする。

- 開催日 平成 25 年 10 月 27 日（日）10：00～15：20
- 場 所 島根県浜田市 島根県立大学内 講堂、体育館
- 対象者 浜田キャンパス 1 年生～3 年生の学生及び保護者
- 内 容
  - ◇10:00～12:00 全体会（講堂）
    - ・ 10:00～10:10 学長挨拶
    - ・ 10:10～10:50 特別講演 … 島根電工(株) 代表取締役社長 荒木 恭司氏  
※島根電工(株)は「日本でいちばん大切にしたい会社」3巻(あさ出版)で紹介されています。  
※特別講演の実施にあたっては、(NPO)しまね未来創造様からの支援を受けています。
    - （10 分休憩）
    - ・ 11:00～11:20 学生発表
    - ・ 11:20～12:00 県大の就職支援 … キャリアセンター 副センター長  
（昼休憩）※学内食堂あり
  - ◇13:00～15:20 ゼミ懇談会（体育館）
    - ・ 個別相談(要予約) … 進路、学業、学生生活など 1 組 20 分程度

### ○荒木恭司氏について

顧客は誰か？顧客が求めているもの（便益）は何か？を常に考え、「住まいのおたすけ隊」に代表される「お客様の役に立ち、喜ばれることを自己実現の喜びとする」企業文化の醸成に関わってこられた、島根電工株式会社の名物社長様です。

### 昨年の状況

全体会出席 94 組（149 人）  
懇談会出席 67 組

### 過去の懇談会の様子



島 県 大 浜 第 1 0 1 号  
平 成 2 5 年 9 月 1 0 日

島根県立大学 保護者 各位

島根県立大学長 本田 雄一  
( 公 印 省 略 )

## 平成25年度島根県立大学進路懇談会について(ご案内)

平素から大学運営には格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
毎年多くのご参加をいただいております標記の会を下記の日程により開催します。遠方  
ではございますが万障繰り合わせのうえ、ご出席をお願い申し上げます。また、学生ご  
本人の出席についてもお誘いいただきますようお願い致します。

### 記

- 開催日 平成 25 年 10 月 27 日 (日) 10 : 00 ~ 15 : 20
- 場 所 島根県浜田市 島根県立大学内 講堂、体育館
- 対象者 浜田キャンパス 1 年生 ~ 4 年生の学生及び保護者
- 内 容
  - ◇10:00~12:00 全体会(講堂)
    - ・ 10:00~10:10 学長挨拶
    - ・ 10:10~10:50 特別講演 … 島根電工(株) 代表取締役社長 荒木 恭司氏  
※島根電工(株)は「日本でいちばん大切にしたい会社」3巻(あさ出版)で紹介されています。  
※特別講演の実施にあたっては、(NPO)しまね未来創造様からの支援を受けています。
  - (10 分休憩)
  - ・ 11:00~11:20 学生発表
  - ・ 11:20~12:00 県大の就職支援 … キャリアセンター 副センター長  
(昼休憩) ※学内食堂あり
  - ◇13:00~15:20 ゼミ懇談会 (体育館)
    - ・ 個別相談(要予約) … 進路、学業、学生生活など 1 組 20 分程度  
※1 年生の場合、春学期と秋学期とでゼミの担当教員が異なります。ご相談には秋学期  
担当教員がご対応します。
    - ※春学期の担当教員と面談ご希望の場合は、お申し込みの際に (ハガキか FAX) その旨  
をご記入願います。

### ■申込方法 締め切り 10 月 7 日 (月)

同封はがき、メール、別添 FAX 用紙のいずれかで出席のご連絡願います。  
メールの場合下記のアドレスに、学生、保護者のお名前、ご自宅電話番号、  
希望面談時間帯をお送り下さい。

●問い合わせ・担当 浜田キャンパス キャリア支援室 [坂田・佐々木]  
TEL0855-24-2202 e-mail : career\_all@u-shimane.ac.jp





平成 25 年 10 月 9 日  
島根県立大学浜田キャンパス  
担当者：企画調整室 山本純・宍戸  
電話：0855-24-2201

## 島根県立大学総合政策学会特別講演会の開催について

島根県立大学総合政策学会では、各界の第一線で活躍されている文化人、経済人等を講師に迎え、教員・学生はもとより地域住民の皆様を対象に講演会を開催しております。

今回は下記のとおり、「ブラック企業と若者の雇用問題」をテーマに大阪市立大学法学部名誉教授の西谷 敏（にしたに さとし）氏をお迎えして開催いたします。

### 記

- 講 師 大阪市立大学法学部名誉教授  
西谷 敏（にしたに さとし） 氏
- 演 題 「ブラック企業と若者の雇用問題」
- 日 時 平成25年10月30日（水） 15時00分～16時30分まで
- 会 場 島根県立大学 講堂

### ◇【講師プロフィール】

専門は労働法。1943年神戸市生まれ。京都大学法学部卒業、京都大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学。大阪市立大学法学部教授、近畿大学法科大学院教授を経て現在、大阪市立大学名誉教授・法学博士。主な著書として、『ドイツ労働法思想史論—集团的労働法における個人・集団・国家』（1987年、日本評論社）、『労働法における個人と集団』（1992年、有斐閣）、『ゆとり社会の条件—日本とドイツの労働者権』（1992年、労働旬報社）、『労働組合法』（[初版]1998年、[第2版]2006年、[第3版]2012年、有斐閣）、“Vergleichende Einführung in das japanische Arbeitsrecht”（2003、Carl Heymanns Verlag）、『規制が支える自己決定—労働法的規制システムの再構築』（2004年、法律文化社）、『労働法』（[初版]2008年、[第2版]2013年、日本評論社）、『人権としてのディーセント・ワーク—働きがいのある人間らしい仕事』（2011年、旬報社）など多数。

※入場は無料です。

島根県立大学総合政策学会は、総合政策学に関わる研究、発表及びその他本学設立の趣旨にかなう幅広い分野に関する研究活動並びに内外の学者、研究者等を招待した研修とその報告活動を目的としており、本学の教員、学生を主な会員としています。

年2回特別講演会の開催を行うほか、「総合政策論叢」の発刊、学生表彰などの活動を行っております。

平成25年10月9日  
 島根県立大学  
 事務局アドミッション室  
 (担当) 的場、松崎  
 (電話) 0855-24-2203

## 平成26年度島根県立大学アドミッション・オフィス入試の 志願状況のお知らせ及び報道対応について

島根県立大学で平成25年10月19日(土)に実施いたしますアドミッション・オフィス入試(総合評価型)の志願状況をお知らせいたします。

試験の取材につきましては、下記によりご協力を賜りますようお願いいたします。

記

### 取材について

#### 取材対象及び取材会場

- ・選抜区分：アドミッション・オフィス入試(総合評価型)
- ・取材会場：面接控室<講義研究棟2F 演習室4>

#### 取材上の注意事項

- ・取材を希望される報道機関は、10月19日(土) **8時40分に本部棟1F玄関ロビーに集合してください。**(報道機関の腕章を着けてください。)
- ・面接控室内の取材時間は、**8時50分から9時まで**とします。
- ・試験前の受験者への個別インタビューはお控えください。
- ・受験者へ動揺を与えないよう注意してください。
- ・受験者本人が特定される撮影はお控えください。(特に受験生の前方からの撮影はご遠慮ください。)
- ・面接控室以外への立ち入りは、原則として認めません。
- ・その他取材に当たっては、取材対応担当者の指示にしたがってください。

#### 取材対応担当者

島根県立大学事務局 事務局長 小室 僚  
 電話) 0855-24-2203

### 1. 募集人員と志願者数

区 分	募集人員	<b>志願者数</b> (確定)
アドミッション・オフィス入試	20名	60名

## 2. 出願期間

平成25年 9月30日(木)～10月4日(金) 【消印有効】

## 3. 試験日程等： 平成25年10月19日(土) 場所：島根県立大学 浜田キャンパス

10月19日(土)

時間	項目	備考
～08:50	受験者面接控室入室	(第1～第3グループ)
～10:30	受験者面接控室入室	(第4～第5グループ)
09:10～11:45	面接試験	各受験生の面接時間は約25分
～12:20	受験者面接控室入室	(第6～第8グループ)
～14:00	受験者面接控室入室	(第9～第11グループ)
～15:40	受験者面接控室入室	(第12～第15グループ)
12:40～17:55	面接試験	各受験生の面接時間は約25分

## 4. 確定受験者数の発表

平成25年10月19日(土) 16:00頃 島根県立大学ホームページで発表

<http://hamada.u-shimane.ac.jp/admission/data/>

※ 必要に応じ電話でお問い合わせください。

## 5. 今後の予定

合格発表 平成25年10月25日(金)

入学手続期間 平成25年10月28日(月)から平成25年11月1日(金)

## ※アドミッション・オフィス入試(総合評価型)の概要

受験生に、本学の理念、教育目標、カリキュラムの特色、求める学生像を十分に理解してもらった上で、能力・適性、学習意欲、目的意識を総合的に判定する選抜です。

平成15年度(平成16年度入学)から実施しており、今回が11年目となります。

## 【過去の状況】

入学年度	募集人員	模擬講義	面接試験	うち県内	合格者	入学者	うち県内
22年度	20名	117名	80名	16名	28名	28名	4名
23年度	20名	77名	55名	9名	23名	23名	4名
24年度	20名	71名	53名	6名	20名	20名	2名
25年度	20名	72名	68名	20名	20名	20名	6名

以上

## 島根県立大学出雲キャンパス 防災力向上の取り組みについて

出雲キャンパス学生及び教職員の災害に対する備えの推進及び防災力の一層の向上を図るため、以下の取り組みを実施します。

### 1. 救命講習会 ～AED 使用法を中心とした心肺蘇生法～

日 時：平成 25 年 11 月 13 日 (水) 14:00～15:00

講 師：出雲市消防本部

場 所：出雲キャンパス 体育館

参加者：教職員 約 70 名

### 2. 地域防災研修会 ～災害時に自分ができること～

出雲市における災害体制・対策の状況、災害時における『自助（自分の命は自分で守ること）』『共助（自分たちの地域は自分たちで守ること）』の重要性及び大学が避難所となった場合の避難所運営方法を学ぶ。

#### (1) 講演の部「出雲市の防災体制・自助・共助について」

日 時：平成 25 年 11 月 20 日 (水) 13:10～14:10

講 師：出雲市総務部 防災安全管理監

場 所：出雲キャンパス 大講義室

参加者：看護学部 1・2 年次生、短大部看護学科 3 年次生、公衆衛生看護学専攻科生、  
教職員 [計 260 名]

#### (2) 実践の部「HUG～避難所運営シミュレーション訓練」

日 時：平成 25 年 11 月 20 日 (水) 14:20～16:20

講 師：出雲市（防災安全課・市民活動支援課）、

出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議

場 所：出雲キャンパス 体育館

参加者：短大部看護学科 3 年次生（希望者）、公衆衛生看護学専攻科生、教職員  
[計 130 名]

#### 参考

1. 出雲キャンパスでは AED を 2 台設置。
2. 出雲キャンパスは、出雲市地域防災計画に基づく避難所開設予定施設。
3. 避難所運営ゲーム HUG とは、H (hinanzyo 避難所)、U (unei 運営)、G (game ゲーム) の頭文字を取ったもので、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲーム。（避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したもの）

平成 25 年 10 月 9 日 (水)  
担当：出雲キャンパス  
看護学部 平野文子  
管理課 岩成奈々恵  
電話：0853-20-0200

## 「平成 25 年度島根県がん相談員等 中央研修会」の開催について

### 1. 目的

患者さんやご家族の意向と医療者の間に認識のズレが生じた場合の対応と、そのために必要な相談員としてのアセスメント力の向上について学ぶ機会とする。

### 2. 日時・会場

- (1) 日時：平成 25 年 10 月 20 日 (日) 9:30～17:00
- (2) 会場：松江市立病院 2階 講堂 (松江市乃白町 32-1)

### 3. 主催等

主催：島根県 島根県立大学出雲キャンパス がん相談員研修委員会  
共催：島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談部会

### 4. 内容・対象

#### (1) 講義と演習

テーマ：「患者・家族と医療者の間に生じる認識のズレへの関わり」

講師：静岡県立静岡がんセンター 疾病管理センター

医療ソーシャルワーカー 主幹 福地 智巴 (ふくち ともは) 氏

#### (2) 対象

島根県内の病院でがん相談に携わる医療ソーシャルワーカー、看護師等 約 50 名

### 5. 参加方法・参加費

- (1) 参加方法：所定の申込書に必要事項を記入の上、「島根県立大学出雲キャンパス がん相談員等 資質向上事業事務局」あて FAX にて申し込む。
- (2) 参加費：無料

### 6. これまでの経緯や今回の特徴

この研修会は、島根県委託「がん相談員等資質向上事業」の 1 つである、「がん相談員研修事業」の一環として行うものです。

がん相談に携わる相談員は、治療選択や療養生活の過ごし方等、心理社会的な葛藤を伴う患者さんやご家族に対して適切な相談支援ができるよう実践力を高める必要があります。

講師には、全国的にもご活躍されている静岡県立静岡がんセンター 医療ソーシャルワーカーの福地智巴氏を迎え、がん相談員として相談支援を行う際の「アセスメントの視点とその重要性」や、患者さんやご家族の意向と医療者の間に認識のズレが生じた場合の対応について、講義・演習を通して学んでいただく研修内容となっています。

## 平成25年度 島根県がん相談員等中央研修会

- 目的** がん相談に携わる相談員等は、治療選択や療養生活の過ごし方等、心理社会的な葛藤を伴う患者さんやご家族に対して、適切な相談支援ができるよう実践力を高める必要があります。今年度は、患者さんやご家族の意向と医療者の間に認識のズレが生じた場合の対応と、そのために必要な相談員としてのアセスメント力の向上について学ぶ機会とします。
- 主催** 島根県  
島根県立大学出雲キャンパス がん相談員研修委員会
- 共催** 島根県がん診療ネットワーク協議会がん相談部会
- 日時** 平成25年10月20日(日) 9時30分～17時
- 会場** 松江市立病院 2階 講堂 (松江市乃白町32-1)  
※ご来場の際は、公共交通機関のご利用にご協力をお願いします。  
※駐車場:お車でお越しの際は、松江市立病院の駐車場をご利用ください。  
※会場への出入りの際は、「救急時間外入口」(別紙参照)をご利用ください。
- 対象** 県内の病院でがん相談に携わる医療ソーシャルワーカー・看護師など
- 参加費** 無料

### 【プログラム】

9:00 ~	9:25	受付
9:25 ~	9:30	オリエンテーション
9:30 ~	9:35	開会挨拶
9:35 ~		講義と演習
		「患者・家族と医療者との間に生じる認識のズレへの 関わり」
		・アセスメントの視点とその重要性
		・アサーションのスキル 等
		講師: 静岡県立静岡がんセンター 疾病管理センター 医療ソーシャルワーカー 主幹 福地 智巴 氏
17:00		終了

### ※申込締切:平成25年10月10日(木)

- ・参加を希望される方は、別紙の参加申込書に必要事項を記入の上、FAXにてお申し込みください。
- ・当日の昼食は各自でご用意ください。(会場での飲食は可能です)
- ・会場である松江市立病院の1階のコンビニエンスストアも利用できます。
- ・松江市立病院内の食堂(8階 レストラン クリオネ)も利用できますが、利用される場合、準備の都合上、人数を把握する必要がありますので、参加申込書に利用の有無を記入してください。

問い合わせ先: 島根県立大学出雲キャンパス がん相談員等資質向上事業事務局 安食  
(TEL/FAX: 0853-22-6522)

## 「交流ウォーキング・プログラム 2013 シーズン2」の実施について ～オリンピック・パラリンピックの開催が決定した東京を目指して～

### 1. プログラムの概要：

運動不足の解消と健康的な生活習慣を身につけるため、学生・教職員が3人1組のチームで4週間にわたり歩数を競います。

今回は、浜田キャンパスと松江キャンパスの教職員も参加し、全学あげてのプログラムとなりました。

また、オリンピック・パラリンピックの開催が決定した東京までの距離 782 km を、チームでクリアすることを目指します※。

### 2. 実施期間：平成 25 年 10 月 7 日 (月) から 11 月 3 日 (日) までの 4 週間 (28 日間)

### 3. 参加者：島根県立大学 3 キャンパスの教職員 123 名 (学生 58 名 + 教職員 65 名)

- (1) 出雲キャンパス 学生 58 名、教職員 32 名
- (2) 浜田キャンパス 教職員 15 名
- (3) 松江キャンパス 教職員 18 名

### 4. 実施内容

(1) 3 キャンパス合わせて、41 チームの対抗で歩数を競います。

(2) 教職員は各自目標歩数を設定して、ウォーキングの習慣化を目指します。

(3) 参加者が楽しく運動に取り組めるようゲーム性のあるルールを採用します。

① 1,000 歩を 1 マイルに換算して、チームごとにマイルを積算

② 活動等の内容によりボーナスマイルを加算。

(例) チームでミーティング、チームでウォーキング等を実施。

(4) マイルとボーナスマイルを合計して上位チーム等を表彰します。

### 5. プログラムの効果

生達にとって、教職員と交流を図りながら楽しく運動プログラムに参加することは、健康意識を高めるだけでなく、相互の信頼関係を築くためにも有用です。

運動不足がちな教職員にとっては、メタボリックシンドローム対策のみならずメンタルヘルス対策にも、ウォーキングは有用です。

これまでの参加者からも、「チームの仲が深まり、仲良くなった。(学生)」、「学生の知らなかった一面をみる機会になり、学生に対して理解が深まった。(教職員)」、「プログラム終了後も励まし合ってウォーキングを続けたい。(教職員)」などの感想が寄せられ、いろいろな効果があることがわかりました。

### 6. これまでの状況

(1) 平成 23 年度は、出雲キャンパスの教職員が参加して 2 回実施しました。

(2) 平成 24 年度は、出雲キャンパスの学生及び教職員が参加して 2 回実施しました。

(3) 平成 25 年度第 1 回目は、出雲キャンパスの学生及び教職員が参加して実施しました。

※平成 25 年度第 1 回目では、優勝したチームの歩行距離は、約 780 km でした。  
これは、出雲と東京間の距離に相当します (出雲 IC - 東京 IC 間 782 km)。